

ワンニャン通信



2021
1月

担当:中島



明けましておめでとうございます。

去年はコロナコロナで、何気なく遊びに行くこともままならずな1年でしたが、今年はどうなっていくのでしょうか…。何も気にせず、遊びに旅行に行きたいものです。少しでも早いワクチン普及と終息を願うばかりです！！

今月は愛犬のシニア期の環境づくりについてです(*^-^*)

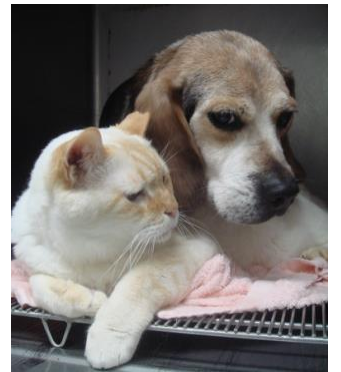
老いが進むと筋力が低下し、若い頃は何ともなかったところで、思わぬケガをすることがあります。愛犬の立場になって部屋をチェックし、愛犬の状態に合わせて生活環境を整えましょう。



たとえば…

- ・大きな段差をなくす。
- ・物にぶつかってケガをしないように、家具の配置を工夫する。
- ・滑らないような床にする。

ストレスや危険のない環境づくりが大切だよ♪



家の中の危険な場所にはゲートを設置、ステップやスロープで安全な歩行をサポート♪

若い頃は行ったり来たりしていた段差でも、衰えから足元がふらつき、途中でバランスを崩したり、転落したりする危険性があります。また、飛び降りには足腰に強い衝撃がかかり、脱臼や骨折を招きかねません。

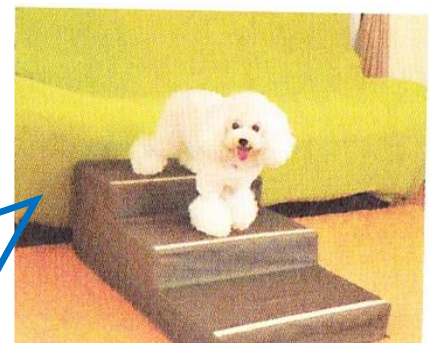


階段や段差のある玄関など、勝手に入ってほしくない場所への進入を防ぐため、柵を設置♪



ステップやスロープを取りつけて、無理な飛び降りを防ぎ、段差の上り下りによる足腰への衝撃を緩和♪

ハウスの出入口や敷居などの小さな段差には、滑らない素材のスロープを設置すると安心♪



認知症が進み、徘徊をするワンちゃんへの安全対策に便利♪

円形サークルで、徘徊時の安全をサポート♪

認知症が進むと、後ろに下がったり方向転換が苦手になります。壁に沿ってずんずんと歩くようになるため、部屋の角に来た時に頭をぶつけてしまいます。

円形サークルはマットなどを円形状に入れて危険な角にぶついたりぐるぐる回り続けてもケガをしない空間が作れます♪



まっすぐに歩けなくなったり、何時間も歩き続けたりするケースもあります。円形サークルだと、留守中や夜中でも、物にぶつかったり、転倒したりなどの心配がないので安心♪

他にもこんな工夫の仕方があります♪



- ・老いが進み足腰が弱ると、頭を下けたまま食べることが難しくなります。
- ・楽な姿勢で食事ができるように、食べやすい位置まで食事台を高くしてみましょう。
- ・マットを敷いて足の滑りを防ぎ、足腰への負担を減らしましょう。



加齢で視力が低下し、家具などにぶつかるのを防ぐために、家具の角にクッション材を貼ってみる♪



家具の間に入り込んで出られなくならないように空間を物で埋めてみる♪



院長のコラム

現在の日本の住宅環境は室内犬にとってあまり良い環境とは言えません。それは障害物の多さもさることながら**すべる床**です。例えば…

1. ソファから飛び降りる際、着地を失敗して前足を骨折した。
2. ソファや椅子に飛び乗ろうとした瞬間、キャンと言って膝の靭帯を断裂した。
3. 喜んで後ろ2本足で飼い主にピョンピョン飛びついていて、足を滑らせて股関節や膝関節を脱臼した。
4. 興奮して走り回っている時に急に止まろうとして、床で滑って壁に激突し脳震盪を起こした。

など、動物（特に犬）の生活環境下では、できるだけ床は滑らないように工夫してあげてください。絨毯をひくとかマットをひくとか。しかし、すべての床を滑らなくするのは無理だとしても最低限ソファや椅子の下など、飛び降りる可能性のあるところの床だけでも滑りにくくしてあげる、ソファに上るためのスロープや階段を準備してあげるなどです。

